

広報

えびな

9/15日号

編集・発行 海老名市役所 市長室
〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175番地の1
代表 ☎046(231)2111 ㊟046(233)9118
㊢ http://www.city.ebina.kanagawa.jp

「広報えびな」は、市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。
☎ 同センター (☎237・3001)

「あなたのフィールドへ。海老名市」

新政策・都市ブランドの創出事業を展開中！

☎ 政策事業推進課 (☎235・4635)

コミュニティバス 大谷・南部ルート

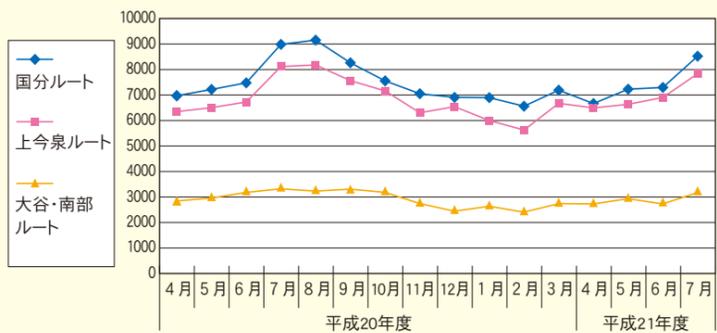
試験運行を継続します



市では、公共交通不便地域にお住まいの方の移動手段を確保するため、コミュニティバスを運行しています。大谷・南部ルートについては、試験運行の中で、本格運行に向けたさまざまな検証を行ってきました。今後も試験運行を継続することに決定しましたのでお知らせします。

☎ 駅周辺対策課 (☎235・9676)。

●コミュニティバス利用者数の推移(平成20年4月～21年7月)



市では、市内の公共交通不便地域の解消を目的に、平成15年9月から、コミュニティバスの運行を開始し、現在、三つの路線(国分ルート、上今泉ルート、大谷・南部ルート)を運行しています。
このうち大谷・南部ルートについては19年12月から試験運行を開始し、21年10月以降の本格運行への移行を検討してきました。
試験運行期間中には、利用状況の調査や、利用者および沿線住民へのアンケートを行いました。この結果、地域の身近な足として定着しつつあるものの、他の2路線と比べ、利用者数が少ない状況にあることが分かりました(左表参照)。
これらを踏まえ、総合的に判断した結果、本格運行には移行せず、10月以降も、引き続き試験運行を継続することに決定しました(アンケートの結果については本紙2面をご覧ください)。

試験運行を継続します
利用実績を踏まえ決定

大谷・南部ルートは、本郷コミセンと海老名駅を結ぶルートで、市役所のほか、保健相談センターや海老名総合病院などにも停車しています。小さなお子さん連れの方、お年寄り、自家用車を使わない方にとって「便利な生活の足」としての役割を果たしています。
今後、運行を継続するには、利用者の利便性はもちろん、費用対効果も大きな課題となります。
大谷・南部ルートは、試験運行を開始してから、延べ6万人以上の方が利用していますが、ほかの2路線と比べて利用者数が少なく、特に杉久保コミセンより南側の地域での利用が伸び悩んでいます。
今後の利用状況で、運行の可否についても検討します。バス路線を継続させるためにも、より多くの方のご利用をお願いします。

地域の足として活躍中
より一層のご利用を

今後、10月・11月は現在と同じ運行ルート・ダイヤで運行しますが、12月からは、ルートを一部変更し、再度、利用状況等の調査を行います。利用者の方にはご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。
※変更後の運行ルート・運行時間など詳細については本紙11月15日号でお知らせします。

今後も運行ルート等を調整
12月からはルートの一部を変更

ください。

《コミバスの停留所》



▲七重の塔が目印です